



夏休みの宿題－書けますか？－

校長 三村 孝志

高等学校の入学試験というと、毎年、新聞に発表される、国語、社会、数学、理科、英語の試験と考える人が多いでしょう。知っている生徒もいると思いますが、実は高等学校独自の試験も出されています。ある高等学校の試験は、掃除について高校生が書いた文章を読み、自分の考えを400字以内で書く問題でした。

多くの高等学校はPRシートを独自試験で書かせているようです。上とは別の高等学校のPRシート問題は、3問ありました。200字程度書かせる問題が1問、150字程度書かせる問題が2問です。字数を合計すると、500字程度になります。さて、この問題の検査時間は何分だと思いますか。50分です。200字の問題にかける時間を20分、150字の問題にかける時間を15分とすると合わせて50分となります。20分あるいは15分には、内容を考える時間、文章構成を考える時間、書く時間などが含まれます。これは試験ですから、急いで書いて自分しか読めない字となってしまってはだめです。誤字や脱字も減点でしょう。

200字程度の文章を、誤字や脱字がなく、他の人が読める字で書ける力をつけることが必要です。自分が200字書くのにどのくらいの時間がかかるかを、新聞記事を視写して計ってみてください。ある調査では、高校1年生が300字の文章を視写するのにかかった時間は、速い生徒で5分弱、遅い生徒は8分程度でした。視写では、写し間違わないようにという意識が強くなると考えられますし、他人の文章なので、自分の考えを書くより時間がかかるかもしれません。この調査を参考にして考えると、300字を6分で書ければある程度の速度で書けたことになるでしょう。とすると、200字は4分程度で書けなければなりません。10分程度で、考えをまとめ、適切な文章構成を考え、文章を書けなければならないということになります。

では、ある学校のPRシート問題を、改作してみなさんに示します。時間は30分です。

【第1問】

1学期の学習や活動をとおして、あなたが最も成長したのはどんなところですか。具体例をあげながら150字程度で書きなさい。

【第2問】

他の人から信頼されるためには何が必要だと思いますか。あなたの考えを、具体例をあげながら150字程度で書きなさい。

この問題は、私からの夏休みの宿題です。宿題ですが提出することを求めています。提出できる人は、担任の先生に提出してください。

このような試験が出されることには、高等学校の意図があるはずですが、それぞれの高校がどのような生徒に入学してほしいかというメッセージとも考えることができます。

- ・自分を客観的にみつめ、長所や短所をきちんととらえられる生徒、そしてそれをわかりやすく説明できる生徒が求められている。
- ・お互いを信頼し合い、ともに高めあっていく生徒が求められている。

私なら、例えばこのように考えます。これらは、川東中学校の生徒に求めたいことでもありません。自分をよくみつめ、何ができるようになり、不十分なところはどこかをとらえられるようになってください。そのことが、自分の未来を切り拓くことにつながります。また、どのようにして人生をよりよいものにしていくのかを考えることにもなるのです。

地域の皆様、保護者の皆様、当校の教育活動にご支援・ご協力を賜り誠にありがとうございました。心から感謝申し上げます。